

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学C

教科: 数学 科目: 数学C 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第3学年 4組~ 5組
 教科担当者: 坂口 誠大
 使用教科書: (高等学校 数学C(数研出版))
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	空間のベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第2章 空間のベクトル	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	式と曲線について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学期	式と曲線、複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第4章 式と曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 第3章 複素数平面	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第3章 複素数平面	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
3 学期	複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、それらのよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	第3章 複素数平面	【知識・技能】 定期考査・小テストなど 【思考・判断・表現】 定期考査・小テストなど 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物・授業中の態度など	○	○	○	9